

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		原水及び浄水費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 001			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部浄水課					
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5068					
	目	原水及び浄水費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度			
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託	○	指定管理			
個別計画		水道ビジョン							

事業の目的	対象（誰を・何を）	水道施設を運転管理し、浄水処理する。
	意図（どういう状態にしたいのか）	安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給する。

事業内容	活動名	①水道施設(源井、取水場、浄水場、配水場等)の維持管理 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するために、処理設備の運転管理、設備の点検整備、薬品の補充、消耗品の交換等を行う。 平成23年度実績:計装設備点検ほか 平成24年度実績:計装設備点検ほか 平成25年度予定:計装設備点検ほか
		②水道施設の保全 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するために保全工事を行う。 平成23年度実績:明石川浄水場ほか保全工事 平成24年度実績:明石川浄水場ほか保全工事 平成25年度予定:明石川浄水場ほか保全工事
		③水質管理 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するために水質検査等を行う。 平成23年度実績:水質検査業務委託を実施 平成24年度実績:水質検査業務委託を実施 平成25年度予定:水質検査業務委託を継続予定
		④県水受水 安全な水を安定して供給するために、兵庫県用水供給事業から水道水を受水する。 平成23年度実績:受水量9,586,500m3 平成24年度実績:受水量9,896,000m3 平成25年度予定:受水量8,635,900m3

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	2,140,653	252,865	2,393,518	0	0	2,393,518	0	正規	25.00	パート	0.00
24当初予算	2,209,806	301,480	2,511,286	0	0	2,511,286	0	再任用	9.00	その他	0.00
24決算	2,235,114	287,156	2,522,270	0	0	2,522,270	0	任期付	2.00	合計	36.00
25当初予算	2,200,181	304,320	2,504,501	0	0	2,504,501	0				

	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	24年度決算事業費明細	委託料	保守点検業務委託ほか		231,715	25年度当初予算事業費明細	委託料
修繕費		原浄水施設保全工事ほか	277,376	修繕費	原浄水施設保全工事ほか		206,200
動力費		原浄水施設等の電力料金	334,883	動力費	原浄水施設等の電力料金		411,000
薬品費		ポリ塩化アルミニウムほか	62,006	薬品費	ポリ塩化アルミニウムほか		81,900
受水費		県水用水料金	1,240,499	受水費	県水用水料金		1,176,991
その他		旅費ほか	88,635	その他	旅費ほか		76,940
合計			2,235,114	合計			2,200,181

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-001	事務事業名	原水及び浄水費
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	年間総配水量に対する自己水量の割合	$\text{自己水量} \div \text{年間総配水量} \times 100$	%	72.5	71.3	74.6
	原浄水関係職員数	4月1日現在の原浄水関係正規職員数 (資本勘定支弁職員を含む)	人	28	27	25
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・運転管理業務の一部委託化によって職員の研修機会を増やし、組織力の向上を図れるようになった。 ・運転管理業務の一部委託化によって職員間の相互バックアップ体制が構築できた。 						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>水道ビジョンに従い、今後の人口の推移から水需要を予測し、自己水源(地下水・河川水)の潜在能力を考慮しながら適正な受水計画を確立する必要がある。</p> <p>また、安定的に安全な浄水処理が行われるよう、経営計画に基づき施設、設備の健全性を最適な手法で確保する。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		配水及び給水費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 002			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部工務課、水道部営業課					
	項	営業費用	連絡先	工務課 (078)918-5066 営業課 (078)918-5043					
	目	配水及び給水費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 5 年度			
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託	○	指定管理			
個別計画		水道ビジョン							

事業の目的	対象（誰を・何を）							
	(1) 配水事業…配水場から給水装置までの配水管等 (2) 給水事業…給水設備、水道使用者及び給水装置工事事業者並びに住宅建設業者等							
事業の内容	意図（どういう状態にしたいのか）							
	(1) 配水事業…適切に維持管理し、安全・安心な水を安定して供給する。 (2) 給水事業…給水装置の修繕工事及び新設給水装置工事の使用材料について、給水装置の構造及び材質に関する規程に適合しているか審査・検査を実施し、安全な水を供給する。							

事業の内容	(1) 配水事業 ①漏水防止対策として、漏水音聴調査を実施。【平成23年度 調査延長260km 漏水発見99箇所 平成24年度 調査延長532km 漏水発見197箇所 平成25年度見込調査延長 450km】 ②消火栓や仕切弁等のボックス補修を実施【平成23年度(402箇所) 平成24年度(485箇所) 平成25年度見込(500箇所)】 ③道路上の漏水修繕等【平成23年度(930箇所) 平成24年度(795箇所) 平成25年度見込(800箇所)】 ④修繕工事に伴う道路管理者、警察への申請業務【平成23年度(775件) 平成24年度(828件) 平成25年度見込(860件)】 ⑤鉛管切替工事(給水管の更新)【平成23年度(657件) 平成24年度(674件) 平成25年度見込(660件)】 ⑥飲料水兼用耐震性貯水槽(9ヶ所)の点検清掃 ⑦宿日直等の業務委託により24時間の緊急修繕受付対応 ⑧各種道路工事における水道埋設管立会・協議業務【平成23年度(973件) 平成24年度(950件) 平成25年度見込(950件)】							
	(2) 給水事業 ①給水装置工事申込書受付及び審査 ②審査・検査手数料及び施設分担金の調定を行い、納付書を発行する。 ③配水管から給水管を分岐する工事の受付及び工事日程調整を行う。 ④県道・国道の分岐工事に伴う道路占用許可申請等を行う。 ⑤給水装置工事完了届の受理及び検査日程調整を行い、検査を実施する。 ⑥指定給水装置工事事業者の指定をする。 ⑦開発に係る協議を行う。 ⑧貯水槽水道の設置台帳を作成し、設置者に対し適切な管理、検査受検の指導を行う。 ⑨簡易専用水道設置届等の受付及び台帳の作成並びに管理指導を行う。 ⑩専用水道設置届等の受付及び台帳の作成並びに管理指導を行う。 ⑪管路図(マッピング)の更新に伴う関係部署との協議をし、更新・図面等の作成をする。 ⑫漏水修繕受付、修繕の手配、苦情処理を行う。 ⑬水道メータの検定満期に伴う取替え及び修理をする。検定満期取替件数(平成23年度22,505個、平成24年度21,087個、平成25年度見込18,927個) ⑭窓口で水道に関する相談等の受付。 ⑮小学校等(平成23年度は5校、平成24年度は14校、平成25年度は8校)の校庭等に水飲み場を設置する。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	765,629	230,552	996,181	0	0	970,915	25,266	正規	23.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	764,420	281,130	1,045,550	0	0	1,020,200	25,350	再任用	7.00	その他	1.00
24決算	753,489	245,113	998,602	0	0	963,202	35,400	任期付	4.00	合計	35.00
25当初予算	774,100	261,030	1,035,130	0	0	1,007,728	27,402				

区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
修繕費	水道メータ検定修繕等の施設・機器の修繕費	89,933	委託料	公道等漏水修繕、給水装置整備工事等の各種業務委託料	371,930	
路面復旧費	漏水修繕等水道工事跡の舗装復旧	89,537	修繕費	水道メータ検定修繕等の施設・機器の修繕費、鉛管切替工事等	203,900	
材料費	水飲み場設置の材料等	7,826	路面復旧費	漏水修繕等水道工事跡の舗装復旧	95,000	
工事請負費	配水管(本管)工事に伴う給水管切替工事等	190,281	工事請負費	配水管(本管)工事に伴う給水管切替工事等	70,800	
その他	旅費ほか	13,023	その他	旅費ほか	25,740	
合計		753,489	合計		774,100	

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-002	事務事業名	配水及び給水費
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	有収率	浄水場で生産された水のうち収益になった水量の割合。有収水量/総配水量で算出される。	%	96.7	97.7	96.7
	給水装置工事申込件数	給水装置工事申込書の申込件数	件	2,361	2,554	2,550
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>(1) 配水事業</p> <p>① 早期の漏水発見・早期修繕により、現状レベルの事業水準(有収率96%以上)を維持できるよう努めていく。</p> <p>② 緊急時における対応力の向上を図るため、危機管理マニュアルのより一層の充実を図る。</p> <p>③ 最大の漏水対策である老朽管整備の進捗をより一層進める。</p> <p>④ 職員の増員を見込めない状況にあって、現状レベルの配水事業を維持するために、所属職員の研修参加機会を増やし、後術水準・意識水準の強化向上を図っていく。</p> <p>(2) 給水事業</p> <p>貯水槽水道の適正管理及び直結給水への切り替えの推進について、設置者や使用者に積極的に情報提供(DM、広報ビラ、ホームページ等)や、指導・助言に努め、より安全でおいしい水の供給を図っていく。</p> <p>また、本市の未来を担うこどもたちに、安全でおいしい水を蛇口からそのまま飲めるという世界に誇れる水道文化を伝えていくため、小・中学校に直結直圧給水式の水飲み場を(小学校は平成25年度までに、中学校は平成26年度で完了)設置する。</p>					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		受託工事費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 003			
			分割/統合						
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容						
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部工務課					
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5066					
	目	受託工事費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度			
	事業		根拠法令 ・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託	<input type="radio"/>	指定管理			
個別計画		水道ビジョン							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	第三者の起因により発生する、配水管布設（移設）工事に伴う給水管切替工事及び管布設工事を水道部において行う。								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	原因者の適正な費用負担によって、水道部が受託工事として行う。								
事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道工事に伴う水道管移設工事及びそれに伴う給水管切替工事 ○県河川改修に伴う水道管移設工事 ○区画整理事業に伴う給水管布設工事 								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	159,910	8,760	168,670	0	0	168,670	0				
24当初予算	99,200	9,540	108,740	0	0	108,740	0	正規	1.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	58,763	8,608	67,371	0	0	67,371	0	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	32,080	9,190	41,270	0	0	41,270	0	任期付	0.00	合計	1.00

24年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	25年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		工事請負費	・他事業工事に伴う導水管移設工事 ・区画整理事業に伴う給水管布設工事ほか		58,763		工事請負費
	合計		58,763		合計		32,080

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-003	事務事業名	受託工事費
------	----------------	-------	-------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	受託工事収支比率	受託工事費に対する受託工事収益の割合(給水工事収益、人件費等を除く)	%	105.7	101.6	107.2
	指標で表せない成果					
他事業で行う水道工事を水道部が受託して行うことにより、水道部監督員の指導のもと、明石市水道部としての施工基準が遵守され、より高い品質が確保出来るものである。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
老朽管の更新、新設管の拡張とは異なり、相手方からの依頼により発生する工事であり、水道部において、拡充、縮小を行うことは難しいものであるが、品質確保といった観点からは必要であり、今後も可能な範囲で受託を行うものである。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		業務費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 004			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部営業課					
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5043					
	目	業務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度			
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託	○	指定管理			
個別計画		水道ビジョン							
事業の目的	対象（誰を・何を） 給水区域内の水道使用者。								
	意図（どういう状態にしたいのか） 本市水道料金の収入を確保し、健全な事業経営を目指す。								
事業内容	① 水道を使用する市民から料金を調定のうえ収納する。 ② 水道使用者から給水申込、使用中止届を受付し、開栓及び中止精算を行う。 ③ 水道料金の減免対象者（生活保護者、独居老人等）の調査、認定を行う。（生活保護者については、平成25年10月1日以降減免廃止） ④ 水道料金の滞納者に対する徴収、整理を行う。 ⑤ 水道料金の重複支払等における過誤納金の還付、充当を行う。 ⑥ 漏水に伴う水量の認定を行う。 ⑦ 工事用前納料金の充当及び還付を行う。 ⑧ 設置されている水道メーターを有効期限前に取替えを行う。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	252,779	54,608	307,387	0	0	256,932	50,455	正規	6.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	256,390	66,665	323,055	0	0	267,582	55,473	再任用	1.00	その他	1.00
24決算	254,500	49,690	304,190	0	0	252,213	51,977	任期付	2.00	合計	10.00
25当初予算	258,510	61,740	320,250	0	0	274,832	45,418				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	備用品費	消耗品費(文具・OA用消耗品等)	526			備用品費	消耗品費(文具・OA用消耗品等)
燃料費	ガソリン代	246		印刷製本費	帳票等の制作、購入	960	
委託料	検針・収納・電算処理業務ほか	248,733		委託料	検針・収納・電算処理業務ほか	250,270	
手数料	料金口座振替手数料ほか	3,733		手数料	料金口座振替手数料ほか	3,960	
負担金	市民センター窓口業務負担金等	661		負担金	市民センター窓口業務負担金等	940	
その他	旅費ほか	601		その他	旅費ほか	1,430	
合計			254,500	合計			258,510

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-004	事務事業名	業務費
------	----------------	-------	-----

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	現年度収納率	現年度調定額に対する収入額の比率 (納期未到来の3月調定分を除く)	%	97.9	98.0	98.1
	過年度収納率	滞納繰越額に対する収入額の比率	%	92.7	93.4	93.7
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>水道事業の健全な運営を維持継続していくうえで必要な事業であり、生活に欠くことのできない水を常に安全で安定して供給するための財源となっている。</p> <p>市民に安全でおいしい水を安定的に供給する体制を維持しつつ、今後、より一層の財政基盤の確保及び強化を図っていくとともに、お客様サービスの向上、効率的な業務運営、経費削減等について引き続き委託内容の拡大も含め検討していく。</p>					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	総係費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 005				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	水道事業費用		事業所管課	水道部総務課				
	項	営業費用		連絡先	(078)918-5064				
	目	総係費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度		
	事業			根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託	○	指定管理			
個別計画	水道ビジョン								

事業の目的	対象（誰を・何を）	水道使用者及び職員
	意図（どういう状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制強化、職員の水道技術知識の向上、経営基盤強化による安定給水を図る。 ・市民の水道水への関心を高め、理解を深める。 ・職員の福利厚生、安全衛生を充実させる。

事業内容	①水道事業の予算決算及び出納事務
	②事業の経営計画の進捗管理 【実施内容】 23年度～ 水道事業経営計画に基づく、進捗管理
	③日本水道協会関連の連絡調整及び研修会への派遣 【受講実績】 23年度 11種 15名 延31日 24年度 20種 34名 延48日 25年度 21種 31名 延42日(見込)
	④危機管理マニュアルの策定、緊急時応援体制の充実 【実施内容】 危機管理マニュアルの見直し、相互応援協定東播磨ブロックでの情報伝達訓練実施
	⑤水道事業のPR(6月及び12月の広報紙の発行・新聞折込、ホームページの更新事務、施設見学の実施、「水道週間」及び「水の週間」に実施する利き水やパネル展示などの街頭啓発、小学校4年生約3,000人への標語の募集・保護者アンケート調査など) 【実施内容】 23年度 広報紙発行部数 231,550部, 出張授業7校, 標語応募数 1,443件 ホームページアクセス件数 26,805件/年, 施設見学数 延 713人 24年度 広報紙発行部数 225,800部, 出張授業14校, 標語応募数 1,464件 ホームページアクセス件数 21,819件/年, 施設見学数 延 742人 25年度 広報紙発行部数 230,000部(見込), 出張授業 21校(見込), 標語応募数 1,500 件(見込) ホームページアクセス件数 25,000件/年(見込), 施設見学数 延 800人(見込)
	⑥職員の労務管理・健康管理・福利厚生・安全衛生に関する事務(健康診断実施・職場巡視) 【実施内容】 安全衛生委員会開催 23年度 12回, 24年度 11回, 25年度 12回(見込)
	⑦公用車の管理(水道部が管理する公用車の車検等維持管理) 【管理台数】 23年度 38台 24年度 37台 25年度 37台(見込)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	113,490	246,803	360,293	0	0	354,019	6,274	正規	11.00	パート	0.00
24当初予算	117,547	207,080	324,627	0	0	317,547	7,080	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	117,748	276,180	393,928	0	0	382,299	11,629	任期付	1.00	合計	12.00
25当初予算	86,824	262,590	349,414	0	0	342,206	7,208				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	備用品費	水道事業PR資材、事務用品ほか	1,861		3,680		
委託料	財務システム保守、ボトルウォーター製作ほか	7,416	22,540				
厚生費	健康診断料、互助会負担金ほか	1,923	2,200				
保険料	水道施設賠償責任保険、公用車自賠責保険ほか	2,041	2,630				
負担金	庁舎維持管理、契約及び工事検査業務負担金ほか	97,269	41,200				
その他	旅費ほか	7,238	14,574				
合計			117,748	合計			86,824

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-005	事務事業名	総係費
------	----------------	-------	-----

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	水道施設見学者割合	水道事業の情報提供の一環として給水人口をベースに水道施設見学者を数値化する。 (見学者数/給水人口)×1000	人/1000人	2.4	2.5	2.7
	経常収支比率	収益性を見る最も代表的な指標である。 [(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	%	107.0	103.9	102.8
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会の定期開催(平成24年度 11回開催)実施により、健康管理など職員の安全衛生に関する意識の向上を図った。 ・主に部内の係長等を対象とした危機管理職場リーダー会議を開催(平成24年度 4回開催)し、危機管理計画の見直しを行うとともに、県内水道事業者による大規模地震発生時及び水道施設事故の発生時を想定した情報伝達・相互応援訓練に参画することにより、危機管理に関する意識の向上を図った。 						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>水道事業は、水道法において原則として市町村が経営するものとされており、市が本来行う事務である。また、ライフラインとしての役割を果たすため、安定給水を行う上での危機管理は勿論のこと、持続可能な経営を行っていくため、計画的に事業を実施していく必要がある。</p> <p>さらに、水道法では、利用者に水道事業についての情報提供を義務付けており、様々な媒体を通じて積極的に情報提供を行い、水道事業についての理解を深めてもらう必要があるため、市民を対象とした水道施設見学や出前講座の実施、平成23年度から開始した市内の小学校4年生を対象とする社会科授業と連携した出張授業等を、水道事業のPRとして行っている。</p> <p>また、経常収支比率についても100%を超えており、収益的に問題はないが、経常収支比率のさらなる向上のためには、支払利息の軽減が有効であるため、企業債借入を抑制していく必要がある。</p> <p>なお、水道事業の経営については、平成23年度から10年間を期間とする方針等を定めた水道ビジョンを策定しており、水道ビジョンの実施計画である水道事業経営計画により進捗管理を行うとともに、状況に応じ、適宜、水道事業経営計画の見直しを図りながら、「安全・安心・安定」でおいしい水の供給に努める。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	減価償却費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 006		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	水道事業費用					
	項	営業費用	事業所管課	水道部総務課			
	目	減価償却費	連絡先	(078)918-5064			
	事業		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度	
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程			
	5-7 安全安心な水の安定供給			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画	水道ビジョン		委託			指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市水道部の所有する固定資産
	意図（どういう状態にしたいのか）	地方公営企業法施行規則に従い、固定資産に係る減価償却費を正確に費用計上すること。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	有形固定資産減価償却費	地方公営企業法施行規則により、水道事業の所有する有形固定資産を毎事業年度減価償却する。	1,564,334,141 円	1,550,482,068 円	1,595,000,000 円
	無形固定資産減価償却費	地方公営企業法施行規則により、水道事業の所有する無形固定資産を毎事業年度減価償却する。	8,872,637円	8,600,637円	8,601,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	1,573,207	0	1,573,207	0	0	1,573,207	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算	1,583,601	0	1,583,601	0	0	1,583,601	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	1,559,083	0	1,559,083	0	0	1,559,083	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	1,603,601	0	1,603,601	0	0	1,603,601	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		有形固定資産減価償却費	水道施設に係る減価償却費		1,550,482		有形固定資産減価償却費
	無形固定資産減価償却費	施設利用権に係る減価償却費	8,601		無形固定資産減価償却費	施設利用権に係る減価償却費	8,601
	合計		1,559,083		合計		1,603,601

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-006	事務事業名	減価償却費
------	----------------	-------	-------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	料金収入に対する減価償却費の割合	$\text{減価償却費} \div \text{料金収入} \times 100$	%	27.0	27.0	27.9
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
水道施設の更新費用の増大により、減価償却費が増加する見通しにある。 平成23年3月に策定した中長期的な経営計画である『明石市水道事業経営計画』に基づく、設備投資及び減価償却を行う。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	資産減耗費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部総務課			
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5064			
	目	資産減耗費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託		指定管理	
個別計画	水道ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	使用不能となった固定資産及び価値の減少した貯蔵品
	意図（どういう状態にしたいのか）	事業を行う上で不要となった固定資産を廃棄処分する等により、固定資産の管理を図る。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	固定資産除却費	固定資産の廃棄・撤去処分により発生する、除却費(残存価額)を費用計上する。	81,047,090円	115,460,461円	77,000,000円
	たな卸資産減耗費	貯蔵品に分類される資産(管・弁栓類)が変質又は滅失したことにより価値が減少したものを、その相当分を費用計上する。	28,016円	11,952円	300,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	81,075	0	81,075	0	0	81,075	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算	77,300	0	77,300	0	0	77,300	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	115,472	0	115,472	0	0	115,472	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	77,300	0	77,300	0	0	77,300	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	固定資産除却費	固定資産の除却損	115,460		固定資産除却費	固定資産の除却損	77,000
たな卸資産減耗費	貯蔵品の減耗費用	12	たな卸資産減耗費	貯蔵品の減耗費用	300		
	合計		115,472	合計	77,300		

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-007	事務事業名	資産減耗費
------	----------------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>事業を行う上で不要となった固定資産を廃棄処分する等により固定資産の管理を図るため、同規模程度を見込んでいる。平成23年3月に策定した中長期的な経営計画である『明石市水道事業経営計画』に基づく、設備投資及び除却等を行う。</p>						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	その他営業費用		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 008	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部総務課			
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5064			
	目	その他営業費用	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程			
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理	
個別計画	水道ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	使用不能となった貯蔵品(量水器を除く)
	意図（どういう状態にしたいのか）	貯蔵品を売却したときの原価を計上することにより、売却収益との対応額を明らかにする。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	材料売却原価	貯蔵品を売却したときに、売却収益との対応額を明らかにするため、原価を計上する。	0円	0円	500,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	500	0	500	0	0	500	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	500	0	500	0	0	500	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
							材料売却原価
	合計		0		合計		500

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-008	事務事業名	その他営業費用
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も確実な貯蔵品の管理に努める。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	支払利息及び企業債取扱諸費		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 009	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部総務課			
	項	営業外費用	連絡先	(078)918-5064			
	目	支払利息及び企業債取扱諸費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託		指定管理	
個別計画	水道ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	建設改良事業及び災害復旧費の財源として借り入れた企業債利息
	意図（どういう状態にしたいのか）	後年度負担の必要性などを鑑み、建設改良事業費を精査することによって借入額を抑制し、費用の逡減を図る。

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		23年度	24年度	25年度
支払利息	前年度以前に借り入れた企業債の利息を支払う。	355,706,352円	333,302,421円	305,300,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	355,706	0	355,706	0	0	355,706	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算	339,600	0	339,600	0	0	339,600	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	333,302	0	333,302	0	0	333,302	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	305,300	0	305,300	0	0	305,300	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		支払利息	企業債に対する利息		333,302		支払利息
	合計		333,302		合計		305,300

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-009	事務事業名	支払利息及び企業債取扱諸費
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	料金収入に対する 企業債利息の割合	$\text{企業債利息} \div \text{料金収入} \times 100$	%	6.1	5.8	5.3
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
支払利息は、高金利分の定期償還や補償金免除繰上償還の実施（平成23・24年度）により、減少していく見込みである。 平成23年3月に策定した中長期的な経営計画である『明石市水道事業経営計画』に基づく、設備投資を行う。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	消費税及び地方消費税	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 010				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部総務課					
	項	営業外費用	連絡先	(078)918-5064					
	目	消費税及び地方消費税	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 元 年度			
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法、消費税法、消費税法施行令、消費税法施行規則ほか					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
個別計画	水道ビジョン								

事業の目的	対象（誰を・何を）	消費税及び地方消費税
	意図（どういう状態にしたいのか）	消費税及び地方消費税を適正に納税する。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	消費税及び地方消費税	消費税及び地方消費税を適正に納税する。	127,970,100円	89,223,100円	90,000,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	127,970	0	127,970	0	0	127,970	0	正規	0.00	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
24当初予算	90,000	0	90,000	0	0	90,000	0				
24決算	89,223	0	89,223	0	0	89,223	0	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	90,000	0	90,000	0	0	90,000	0	任期付	0.00	合計	0.00

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		消費税及び地方消費税	水道事業に係る消費税及び地方消費税		89,223		消費税及び地方消費税
	合計		89,223		合計		90,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-010	事務事業名	消費税及び地方消費税
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
指標で表せない成果							
適切に実施。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成26年度からの税率の増加に伴い、納税額の増加が見込まれる。 地方公営企業法・消費税法等に基づく会計処理・納税を適切に行う。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		固定資産売却損	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 011										
			分割/統合													
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容													
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部総務課												
	項	特別損失	連絡先	(078)918-5064												
	目	固定資産売却損	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程												
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他									
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理										
個別計画		水道ビジョン														
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 使用不能となった固定資産で売却可能な資産															
	意図（どういう状態にしたいのか） 事業を行う上で不要となった固定資産を売却することにより、固定資産の管理の適正化を図る。															
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)		活動実績		活動見込み										
				23年度	24年度	25年度										
	固定資産売却損	資産(量水器、車両等)を売却する際に、売却価格が帳簿価額(残存価額)より少ない場合にその差額を費用計上する。		1,773,981円	33,208円	5,000,000円										
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳			25年度人員配置(人)								
					国・県支出金	地方債	その他特定財源			一般財源						
23決算	1,774	0	1,774	0	0	0	1,774	0	正規	0.00	パート	0.00				
24当初予算	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000	0								
24決算	33	0	33	0	0	0	33	0					再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000	0					任期付	0.00	合計	0.00
24 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額		25 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額								
	固定資産売却損	水道施設の売却損	33			固定資産売却損	水道施設の売却損	5,000								
合計			33		合計		5,000									

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-011	事務事業名	固定資産売却損
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
	指標で表せない成果						
適切に売却損を計上した。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成23年3月に策定した中長期的な経営計画である『明石市水道事業経営計画』に基づく、設備投資を行い、その結果、売却可能な固定資産を売却する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		過年度損益修正損	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 012		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部営業課				
	項	特別損失	連絡先	(078)918-5043				
	目	過年度損益修正損	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度		
	事業		根拠法令 ・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理		
個別計画		水道ビジョン						
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 給水区域内の水道使用者							
	意図（どういう状態にしたいのか） 水道料金の適正な徴収を実施し、健全な事業経営を目指す。							
事業 内容	① 過年度水道料金の減額更正を行う。 ② 時効完成した未収水道料金の不納欠損処理を行う。 ③ 工事中止による過年度施設分担金等の還付処理を行う。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	105,377	0	105,377	0	0	105,377	0				
24当初予算	20,000	0	20,000	0	0	20,000	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
24決算	9,889	0	9,889	0	0	9,889	0	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	20,000	0	20,000	0	0	20,000	0	任期付	0.00	合計	0.00

24 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	25 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
		過年度損益修正損	過年度水道料金の調定減額ほか		9,889		過年度損益修正損
	合計		9,889		合計		20,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-012	事務事業名	過年度損益修正損
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	過年度損益修正損額(水道料金)	過年度水道料金の減額更正のほか、既に調定し納入告知した歳入が不良債権となった場合、不納欠損処理及び私債権管理条例に基づく債権放棄の事務処理を行うことにより、決算における経営状況をより正確に表せる。	金額(千円)	10,738	9,403	10,100
	指標で表せない成果					

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>水道料金などの私法上の債権については、単に時効の期間が経過しただけでは債権は消滅しないため、居所不明等により徴収不能の不良債権が決算の貸借対照表上は資産として計上されることにより、経営実態を正確に表していないことが少なくない。会計上の不納欠損処理及び私債権管理条例に基づく債権放棄の事務処理を行うことにより、決算における経営状況をより正確に表せ、有効性が高く、水道事業の健全な運営を維持継続していくうえで必要不可欠な事業である。</p> <p>市民に安全でおいしい水を安定的に供給する体制を維持しつつ、今後、より一層の財政基盤の確保と強化を図っていくため、水道料金の適正な徴収に努めるとともに、債権を適正に管理していく。</p>					

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		予備費(損益勘定)	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 013						
			分割/統合									
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容									
	款	水道事業費用	事業所管課	水道部総務課								
	項	予備費	連絡先	(078)918-5064								
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度						
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程								
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他					
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理						
個別計画												
事業 の 目的	対象(誰を・何を)											
	水道事業の収益的支出予算											
意図(どういう状態にしたいのか)												
予定外の収益的支出及び予算を超過した収益的支出に対し、準備しておくため。												
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)		活動実績		活動見込み						
				23年度	24年度	25年度						
	予備費			0円	0円	5,000,000円						
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳			25年度人員配置(人)				
					国・県支出金	地方債	その他特定財源			一般財源		
23決算		0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算		5,000	0	5,000	0	0	5,000	0				
24決算		0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算		5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	任期付	0.00	合計	0.00
24 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	25 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額					
						予備費	収益的収支予算の予備費	5,000				
		合計			0		合計	5,000				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-013	事務事業名	予備費(損益勘定)
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					
執行していない。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
特になし。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	第3次整備事業費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 014	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容			
	款	資本的支出	事業所管課	水道部浄水課		
	項	建設改良費	連絡先	(078)918-5068		
	目	第3次整備事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程		
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
個別計画	水道ビジョン		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		

事業の目的	対象（誰を・何を）	水道施設の施設整備及び機能強化を図る。
	意図（どういう状態にしたいのか）	安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給する。
事業内容	活動名	<p>①水道施設(源井、取水場、浄水場、配水場など)の整備工事 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するために浄水場等の運転操作設備、計装設備、中央監視制御設備の工事を行う。 平成23年度実績:鳥羽浄水場汚泥脱水設備機械工事ほか 平成24年度実績:鳥羽浄水場汚泥脱水設備電気工事ほか 平成25年度予定:明石川取水場取水ポンプ設備電気工事ほか</p> <p>②導水、送水、配水管の整備工事 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するために導水、送水、配水管を整備する。 平成23年度実績:朝霧町2丁目地内配水管布設工事ほか 平成24年度実績:西脇土地区画整理事業地区内配水管布設(その7)工事ほか 平成25年度予定:松陰山手土地区画整理事業地区内配水管布設工事ほか</p> <p>③耐震補強工事 地震時における安定供給を強化するために配水場の耐震化を行う。 平成23年度実績:耐震診断に基づく配水場耐震補強工事実施設計 平成24年度実績:東部配水場内配管耐震補強工事ほか 平成25年度予定:中部配水場配水塔耐震補強工事ほか</p> <p>④送水管整備 安定供給のために明石川浄水場と東部配水場間の送水管を整備する。 平成23年度実績:明石川浄水場東部配水場間送水管基本設計の実施 平成24年度実績:明石川浄水場送水管整備実施設計の実施 平成25年度予定:明石川浄水場送水管整備実施設計の継続</p>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	350,037	0	350,037	0	0	350,037	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算	472,180	0	472,180	0	150,000	322,180	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	640,041	0	640,041	0	200,000	440,041	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	668,000	0	668,000	0	200,000	468,000	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		原浄水施設費	鳥羽浄水場汚泥脱水設備電気工事ほか		488,406		原浄水施設費
	配水施設費	配水管布設工事	144,470		配水施設費	配水管布設工事	133,700
	委託料	明石川取水場取水ポンプ設備ほか実施設計委託ほか	7,165		委託料	水道施設配水ポンプ設備実施設計委託ほか	10,000
					事業諸費	工事にかかる諸経費	500
	合計		640,041		合計		668,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-014	事務事業名	第3次整備事業費
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	施設耐震化率(配水池)	$\text{耐震水槽容量} \div \text{保有水槽容量} \times 100$	%	3.6	66.6	68.5
	経年化浄水施設率	$\text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力} \div \text{全浄水施設能力} \times 100$	%	0	0	0
指標で表せない成果						
平成21年度主要工事 鳥羽浄水場高度浄水施設及び新浄水池施設機械工事、同電気工事 平成22年度主要工事 明石川浄水場電気工事 平成23年度主要工事 鳥羽浄水場汚泥脱水設備機械工事 平成24年度主要工事 鳥羽浄水場汚泥脱水設備電気工事						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
水道ビジョンによると、今後水需要は減少傾向が見込まれており、自己水源(地下水・河川水)の潜在能力を考慮しながらも施設の統廃合を含めた規模や更新時期の最適化を図る必要があり、そのために経営計画に基づき財政計画とのバランスの保ちながら整備を進めていく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		老朽管整備事業費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 015			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	資本的支出	事業所管課	水道部工務課					
	項	建設改良費	連絡先	(078)918-5066					
	目	老朽管整備事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度			
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託	○	指定管理			
個別計画		水道ビジョン							
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	耐用年数（石綿管・ビニル管・普通鋳鉄管（CIP）・ダクタイル鋳鉄管（ホリスリーブ無）40年、ダクタイル鋳鉄管（ホリスリーブ有）60年を経過した配水管								
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	新しいダクタイル鋳鉄管（DCIP）に更新することにより、漏水事故や濁水の発生を抑制すると共に、耐震性の向上を目的とする。								
平成22年度に作成した老朽管更新計画に基づき、昭和43年以前に布設された64.4kmの配水管を、平成23年度から32年度までの10年間で更新する。 また、φ 75mmからφ 250mmまでを新型GX形継手管、φ 300mm以上をNS形継手管といった耐震管を使用することにより耐震率の向上を図る。 ○布設後40年を経過した普通鋳鉄管を更新している。 ○布設後40年を経過したダクタイル鋳鉄管（ホリスリーブ無）を更新している。 ○老朽管布設替工事における配水管設計業務の一部を委託にて行う。 ○平成23年度更新延長 3,447m ○平成24年度更新延長 6,420m ○平成25年度更新予定延長 6,455m									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	326,608	0	326,608	0	0	293,281	33,327				
24当初予算	632,900	0	632,900	0	350,000	249,090	33,810	正規	0.00	パート	0.00
24決算	556,334	0	556,334	0	0	522,621	33,713	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	654,400	0	654,400	0	300,000	322,620	31,780	任期付	0.00	合計	0.00
24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額				
	配水施設費	老朽配水管布設替工事費	549,470		配水施設費	老朽配水管布設替工事費	632,500				
	委託料	配水管設計委託費等	6,864		委託料	配水管設計委託費等	21,400				
					事業諸費	工事にかかる諸経費	500				
合計			556,334	合計			654,400				

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-015	事務事業名	老朽管整備事業費
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	老朽管整備計画達成率	平成22年度に新たな老朽管更新計画を策定し、平成23年度から平成32年度の10年間で64.4kmの更新を目指す。	%	5.4	15.3	25.3
	管路の事故割合	管理する水道本管100km当たりの本管事故件数	件/100km	3.1	1.2	1.0
指標で表せない成果						
近年発生している本管漏水のほとんどが、この事業における更新対象の管路であることから、この事業を行うことにより、本管漏水発生件数が抑制されているものと考えられる。 また、事業を進めていくことにより本管漏水件数は減少していくことが予想される。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
現在、老朽管整備計画は概ね順調に進んでいるが、当計画の更新延長64.4kmは計画を立てた時点での法定耐用年数超過延長であり、整備を行っている間にも新たな老朽管が発生しており、今後、老朽管は増えることがあっても減ることはないというのが現状である。 今後は更新に用いる材料及び施工方法を選定し、更新周期を少しでも伸ばしていく努力が必要である。 また、様々な発注方法等を検討し、年間の更新ペースを少しでも上げるよう画策していく必要がある。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		建設改良事業費	新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 016		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業所管課	水道部浄水課				
	款	資本的支出	連絡先	(078)918-5068				
	項	建設改良費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度		
	目	建設改良事業費	根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程				
	事業			実施方法	直営	○	補助・助成	
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給		委託	○	指定管理			
個別計画	水道ビジョン							
事業の目的	対象（誰を・何を） 水道施設を改築更新し、機能維持を図る。							
	意図（どういう状態にしたいのか） 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給する。							
事業内容	活動名 ①水道施設（源井、取水場、浄水場、配水場など）の改築更新の実施 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するために、老朽化した施設の改築を行う。 平成23年度実績：鳥羽浄水場ろ過池設備ほか電気工事 平成24年度実績：水道施設源井設備電気工事ほか 平成25年度予定：鳥羽浄水場自家発電設備工事ほか							
	②導水、送水管の布設替・移設工事 源井からの安定した取水を目的とし、老朽化した導水管や耐震性の低い導水管を更新するほか、他事業の円滑な推進に寄与し、安全な水を安定して供給するために、他事業からの依頼に応じて導水、送水管を移設する。 平成23年度実績：魚住町清水宮ノ前地内導水管移設工事 平成24年度実績：魚住町清水宮ノ前地内導水管布設替工事 平成25年度予定：大久保町松陰地内導水管布設替工事							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	101,040	0	101,040	0	0	101,040	0				
24当初予算	150,170	0	150,170	0	0	150,170	0	正規	0.00	パート	0.00
24決算	198,647	0	198,647	0	0	198,647	0	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	142,400	0	142,400	0	0	142,400	0	任期付	0.00	合計	0.00

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		原浄水施設費	鳥羽浄水場沈殿池設備機械工事ほか		184,806		原浄水施設費
	配水施設費	配水管の移設工事ほか	13,686		配水施設費	配水管の布設替工事ほか	63,800
	委託料	配水管布設工事設計業務委託	155		委託料	配水管移設工事設計業務委託	300
	合計		198,647		合計		142,400

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-016	事務事業名	建設改良事業費
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	経年化設備率	$\frac{\text{経年化年数を超えている電気・機械設備数}}{\text{電気・機械設備の総数}} \times 100$	%	49.3	53.3	52.4
指標で表せない成果						
平成21年度主要工事 水道施設源井設備電気工事 平成22年度主要工事 明石川浄水場防犯設備電気工事 平成23年度主要工事 鳥羽浄水場ろ過池設備電気工事 平成24年度主要工事 水道施設源井設備電気工事						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後水需要は減少傾向が見込まれており、自己水源(地下水・河川水)の潜在能力を考慮しながらも、いつでも安定して安全な水道水を供給できるよう、施設の機能、性能を維持する。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	固定資産購入費		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 017	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	資本的支出	事業所管課	水道部営業課			
	項	建設改良費	連絡先	(078)918-5043			
	目	固定資産購入費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	計量法、明石市水道条例			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託		指定管理	
個別計画	水道ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	水道事業用の固定資産で工事で取得するものを除くもの
	意図（どういう状態にしたいのか）	水道事業用に供するメーターなどの固定資産を購入する。
事業内容	①水道メーターの検定満期に伴う取替、及び新規給水申込み等に対応するため、水道メーターを購入する。 平成23年度実績 口径 13mm～100mm(8,380個) 平成24年度実績 口径 25mm～100mm(505個) 平成25年度見込 口径 13mm～100mm(8,635個)	
	②耐用年数1年以上で取得価額10万円以上の工具器具及び備品を購入する。 平成23年度実績 ポータブル流量計一式、源井内調査用水中カメラ一式ほか 平成24年度実績 仮設給水栓25基、仮設給水槽(2t)15基、ポータブル振動計3台ほか 平成25年度見込 仮設給水槽(2t)29基、財務会計システム構築、水道施設管理システム用ハードウェア一式ほか ③東部配水場に隣接する斜面の耐震補強をするため、その斜面の土地(神戸市所有)を購入する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	42,163	0	42,163	0	0	42,163	0				
24当初予算	50,920	0	50,920	0	0	50,920	0	正規	0.00	ア/ハ/ホ	0.00
24決算	22,843	0	22,843	0	0	22,843	0	再任用	0.00	その他	0.00
25当初予算	118,400	0	118,400	0	0	118,400	0	任期付	0.00	合計	0.00

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		工具器具及び備品購入費	災害用臨時給水栓ほか		11,873		量水器購入費
	量水器購入費	水道メーターの購入費(φ25mmほか)	10,970		工具器具及び備品購入費	会計制度見直しに伴う財務会計システム構築ほか	48,400
					土地購入費	東部配水場関連土地購入	30,000
	合計		22,843		合計		118,400

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-017	事務事業名	固定資産購入費
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	水道メーター購入 個数	水道メーターの取替等に対応するため購入する水道メーターの個数	個	8,380	505	8,635
	指標で表せない成果					

	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等				
	<p>水道メーターについては、計量法により取引（役務の提供）、証明をする場合には、検定証印の付された水道メーター（特定計量器）を利用しなければならず、使用者への信頼性の確保からも必要不可欠であり、料金算定の基礎となる使用水量を適正に計算できており、有効性も高い。</p> <p>新JIS規格への移行に伴い、現在設置されている水道メーターを平成23年4月から8年間で新たな基準のメーターへ切り替えを行っている。今後、水道メーターの更新計画から購入予定数量を算定し、年次計画的に発注を行っていく。</p>				

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	事務費		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 018		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	資本的支出	事業所管課	水道部総務課				
	項	建設改良費	連絡先	(078)918-5064				
	目	事務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度		
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理		
個別計画	水道ビジョン							

事業の目的	対象（誰を・何を）	
	水道施設の整備、拡充等に従事する職員	
意図（どういう状態にしたいのか）		
水道事業の建設改良工事について、適正な設計、工事監理等による水道施設の整備更新を図る。		

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	人件費	第3次整備事業、老朽管整備事業、建設改良事業にかかる人件費	86,995,564円	46,989,518円	59,000,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	86,996	86,996	0	0	86,996	0	正規	7.00	パート	0.00
24当初予算	0	56,120	56,120	0	0	56,120	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	46,990	46,990	0	0	46,990	0	任期付	0.00	合計	7.00
25当初予算	0	59,000	59,000	0	0	59,000	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	合計		0		合計		0

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-018	事務事業名	事務費
------	----------------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
特になし。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	企業債償還金		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 019		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	資本的支出						
	項	企業債償還金	事業所管課	水道部総務課				
	目	0	連絡先	(078)918-5064				
	事業		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度		
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等		地方公営企業法			
	5-7 安全安心な水の安定供給				実施方法		直営	○
個別計画	水道ビジョン				委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）			
	水道施設の整備、拡充及び災害復旧費に要する事業費の財源として借り入れた企業債			
意図（どういう状態にしたいのか）				
住民に対するサービスの提供を維持し、将来にわたり安全で安定した水道水を供給するための資金を確保するとともに、経営基盤を強化するために企業債残高の減少を図っていく。				

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	企業債償還額	水道施設の整備、拡充等のために借り入れた企業債の元金償還	702,516,638円	1,099,634,832円	602,688,000円
	企業債借入額	水道施設の整備、拡充のための新規借入	0円	200,000,000円	500,000,000円
	未償還残高	企業債の残高	13,823,933,352円	12,924,298,520円	12,821,610,520円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	702,517	0	702,517	0	0	702,517	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算	1,099,636	0	1,099,636	0	0	1,099,636	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	1,099,635	0	1,099,635	0	0	1,099,635	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	602,688	0	602,688	0	0	602,688	0				

24年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	企業債償還金	企業債の元金償還	1,096,914			企業債償還金	企業債の元金償還
災害復旧債償還金	災害復旧債の元金償還	2,721		災害復旧債償還金	災害復旧債の元金償還	2,819	
	合計		1,099,635		合計		602,688

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-019	事務事業名	企業債償還金
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
事業の成果	企業債償還元金対減価償却費比率	$\text{企業債償還元金} \div \text{当年度減価償却費} \times 100$	%	44.7	70.5	37.6
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
企業債の補償金免除繰上償還等の後年度における負担額の軽減を図る制度の利用が可能な時は、積極的に利用していく。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名		国庫補助金返還金		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 020					
				分割/統合								
関連 予算 科目	会計	水道事業会計		事業の分割/ 統合の内容								
	款	資本的支出		事業所管課	水道部総務課							
	項	国庫補助金返還金		連絡先	(078)918-5064							
	目	国庫補助金返還金		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度					
	事業			根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法							
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他				
		5-7 安全安心な水の安定供給			委託		指定管理					
個別計画		水道ビジョン										
事業 の 目的	対象（誰を・何を）											
	国庫補助金											
意図（どういう状態にしたいのか）												
前年度消費税確定に伴う国庫補助金の返還を適正に行う。												
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み					
					23年度	24年度	25年度					
	国庫補助金返還金	前年度消費税額確定に伴い、国庫補助金を返還する。			8,576,190円	0円	0円					
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算		8,576	0	8,576	0	0	8,576	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算		0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算		0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算		0	0	0	0	0	0	0				
24 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容		金額	25 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容		金額			
		合計		0			合計		0			

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-020	事務事業名	国庫補助金返還金
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
特になし。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。

平成25年度 事務事業点検シート

事務事業名	予備費(資本勘定)		新規/継続	継続事業	整理番号	1505000000 - 021		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	資本的支出	事業所管課	水道部総務課				
	項	予備費	連絡先	(078)918-5064				
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度		
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理		
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)	水道事業の資本的支出予算
	意図(どういう状態にしたいのか)	予定外の資本的支出及び予算を超過した資本的支出に対し、準備しておくため。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			23年度	24年度	25年度
	予備費		0円	0円	5,000,000円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				25年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
23決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	パート	0.00
24当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	再任用	0.00	その他	0.00
24決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
25当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0				

24年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	25年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
							予備費
合計			0	合計			5,000

平成25年度 事務事業点検シート

整理番号	1505000000-021	事務事業名	予備費(資本勘定)
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	23年度	24年度	25年度見込み	
指標で表せない成果							
執行していない。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
特になし。						

※「事業の評価・今後の方向性」は、平成25年8月末時点の所管課の考え方であり今後変更する場合があります。